

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (確率論的リスク評価 (レベル1PRA) ※地震・津波PRA除く))

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221209-01	1	とりまとめた資料3) 37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-30) LOCA時注入モードから再循環モードへの切り替え操作が伊方と同様であればその旨を記載すること	R4.12.9	本日回答		LOCA時注入モードから再循環モードへの切り替えのために運転員の操作が必要な点は伊方や玄海と同様であるため、比較表の相違理由欄に同様の旨記載した。 また、提出資料全般に対しても水平展開し、先行実績がある場合については、先行と同様であることを比較表の相違理由欄に追記した。	資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8-9 r.3.3)』 ・P.とりまとめた資料-3 ・P.37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-5 他	
221209-02	2	37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-3) 「蓄圧注入系は、蓄圧タンク、配管、弁等で構成し・・・」の『等』の記載について、先行審査実績、既許可を踏まえて、適切な表現を検討すること。	R4.12.9	本日回答		先行審査実績 (大飯3/4号炉) に合わせて以下のとおり記載表現を修正した。 ・「蓄圧注入系は、蓄圧タンクと配管、弁類で構成され・・・」 また、「対象とするプラントの説明」全般 (出力運転時及び停止時含む) についても水平展開し、先行審査実績 (女川2号炉及び大飯3/4号炉) の構文に合わせた記載表現に修正した。	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8 r.3.3)』 ・P.3.1.1-1~6 ・P.3.1.2-2  資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8-9 r.3.3)』 ・P.37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-3~6, 9~11 ・P.37条 付録1-別添3-3.1-3.1.2-2, 3	
221209-03	3	37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-3) 「・・・及びpH調整剤貯蔵タンクは・・・」が泊3号炉固有の設計であるのかを確認し、確認結果に基づいて、相違について適切な識別と理由の記載を行うこと。	R4.12.9	本日回答		pH調整剤貯蔵タンクは大飯3/4号炉を含む先行PWRと同様の設計であることを確認し (比較表 付録1-別添3-3.1-3.1.1-134ページ 第3.1.1.a-6図参照)、先行審査実績 (大飯3/4号炉) と同様となるよう記載を修正した。	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8 r.3.3)』 ・P.3.1.1-2, 3  資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8-9 r.3.3)』 ・P.37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-5	
221209-04	4	37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-11) 総デジに関する故障率について柏崎刈羽のまとめ資料を確認し、不足等があれば記載の充実を検討すること。	R4.12.9	本日回答		柏崎刈羽を含む先行プラントのPRAまとめ資料を確認した結果、総合デジタル設備の故障率について参考となる記載がなかったため、泊3号炉の総合デジタル設備に関する取扱いについて補足説明資料を作成した。(補足3.1.1.a-3)	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8 r.3.3)』 ・補足3.1.1.a-3	

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221209-05	5	37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-11) 「知見がないため」の記載について表現の適切性を検討すること	R4.12.9	本日回答		デジタル制御盤の人的過誤評価については適用可能な知見がないことを踏まえ、記載を適正化した。	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8 r.3.3)』 ・P.3.1.1-7 ・P.補足3.1.1.a-1-4  資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8-9 r.3.3)』 ・P.37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-13 ・P.37条 付録1-補足3.1.1.a-1-5	
221209-06	6	とりまとめた資料) 総デジなど他プラントとの大きな違い等が分かるように、説明の充実を検討すること	R4.12.9	本日回答		泊3号炉のPRAに影響する特徴として、総合デジタル設備の取扱いについて補足説明資料を作成した。(補足3.1.1.a-3) また、概要説明資料(PPT)にも同様に泊3号炉のPRAに影響する特徴を整理した。	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8 r.3.3)』 ・補足3.1.1.a-3  資料2-9『泊発電所3号炉 確率論的リスク評価(PRA)結果及び事故シーケンスグループ等の選定について』 ・P.6	
221209-07	7	3.1.1-92) 単線結線図について他条文の資料と整合を図ること (F2計装用定電圧装置の負荷表示が、14条と異なっている。)	R4.12.9	本日回答		他条文の資料と整合するように図を修正した。 また、「3.1.1.a①対象とするプラントの説明」全般について、同様の修正を実施した。	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8 r.3.3)』 ・P.3.1.1-87~91  資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8-9 r.3.3)』 ・P.37条 付録1-別添3-3.1-3.1.1-134~138	
221209-08	8	デジタル安全系のV&V(検証と妥当性確認)やPRAにおけるデジタルの扱い(故障率、共通原因故障の取り扱いなど)について別途、補足説明資料を作成して説明すること	R4.12.9	本日回答		泊3号炉の総合デジタル設備に関する取り扱い(デジタル安全系のV&Vに関する説明を含む)について補足説明資料を作成した。(補足3.1.1.a-3)	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8 r.3.3)』 ・補足3.1.1.a-3	
221209-09	9	RCP耐熱シールリングについて、大飯(WH製)と泊(MHI製)の耐性に係る実験結果、PRA上の取り扱い、RCP LOCAの解析の取り扱いについて説明すること	R4.12.9	本日回答		RCP耐熱シールリングに係るPRA上の取り扱いについて補足説明資料を作成した。(補足3.1.1.a-2) なお、RCP耐熱シールリングの耐性に係る実験結果およびRCPシールLOCAの解析上の取り扱いについては有効性評価(SBO)ヒアリング(R5.3.8実施)にてご説明予定)	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAE8 r.3.3)』 ・補足3.1.1.a-2	

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221209-15	10	37条 付録1-3-1-5) 女川との相違として「泊は、」との記載があるが、PWR共通ならば「PWRは」という主語でもいいと考えられる。PWR共通の内容か泊固有の内容かの観点で主語の適正化を検討の上、必要に応じ反映すること。	R4.12.9	本日回答		ID: 221209-01にて回答	資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について (SAES-9 r. 3. 3)』 ・全般	

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。